

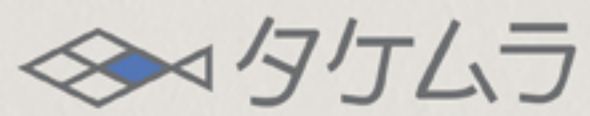


- 【本社サイト】 〒519-3204 三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島 400-6
- 【海野サイト】 〒519-3206 三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区海野 519-4
- 【比良サイト】 〒519-3209 三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区古堂 726
- 【東長島サイト】 〒519-3204 三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島 3362



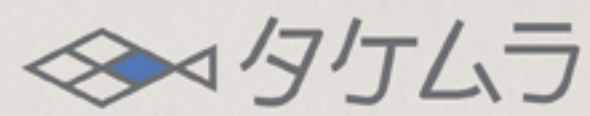
《会社案内》

網で日本の漁業をサポート



〒519-3204 三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島 400-6
 タケムラ有限会社
 TEL <0597>-47-1355
 FAX <0597>-47-1187
<http://www.takemura-net.com>

網で日本の漁業をサポート



Takemura One Stop Service (TOSS)

漁網のライフサイクル

当社は、漁網を設計し、必要な材料網を調達し、それを社内のサイト（加工場）において漁網に仕立て、防汚液で染め加工（防汚加工）します。防汚加工することにより、貝や海藻が付着しにくくなり、漁網のライフサイクルが長期化します。このことが、お客様に作業の軽減と時間短縮をもたらします。

タケムラ有限会社

新規漁網調製

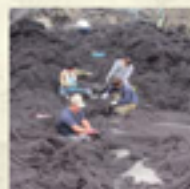


仕立て



防汚加工

メンテナンス



洗浄・補修



防汚加工



保管

補修した漁網はメンテナンスが完了したら必ずしもすぐに海に戻されるわけではありません。お客様に保管スペースが十分でない場合などに、お客様に最適なタイミングでお渡しできるよう当社では漁網の保管サービスも提供しています。

材料網

調達

完成した漁網はお客様に納品し、漁業や養殖に使用されます。防汚加工してあっても貝や海藻が付着しますし、摩耗・破損も生じますので、網の用途や使用頻度に応じた周期で海から上げて網を洗浄して付着物を落とし、破損などを補修して、再び防汚加工して海に戻します。



養殖



網で日本の漁業をサポート



漁業



廃棄・再利用

漁網もいつかはライフサイクルを終えますが、現在は産業廃棄物として処分しています。今後は、網から落とした付着物をミネラルリッチな肥料として、また洗浄・補修を終えた網を陸上ネットなどとして再利用して、環境負荷低減に取り組みます。

当社は、漁網の新規調製・メンテナンスを主力事業とし、平成 26 年 11 月で会社設立 20 周年を迎えます。その間、漁業は海に出る特異型から、生簀にて養殖する新規増産型が主流になりました。漁業の変化に伴い、当社が取扱う網も特異型の漁業で使う定置網、刺し網、定置網から養殖生簀網へと変化しました。養殖漁業は成長産業です。その中で養殖生簀網も日進月歩で進化していますが、当社は長年培った経験とノウハウで、設計段階から「使いやすく丈夫な漁網」を提案しています。仮に海を舞台とし、漁業者を俳優とすると、当社の業務は大道具という裏方ですが、当社はその裏方の仕事に誇りを持っています。現在の日本の漁業は衰退し、漁業者も俳優としての誇りを失いかけているのかもしれませんが、当社は、水産資源を適切に採取・栽培しながら海を守る、日本の漁業を裏方として変え続けます。そんな思いを「網で日本の漁業をサポート」という経営理念に込めています。当社が所在する東紀州地域は働く場が少ないので若者が都市部に流出して人口が減少し、人口が減少するのさらに産業が衰退するという悪循環に陥っています。戦力ではありませんが、当社が従業員と共に成長し、さらに従業員を増やすことで、この悪循環に歯止めをかけることができれば、これに勝る喜びはありません。タケムラは、これからも日本の漁業と東紀州地域の発展のために成長し続けます。



代表取締役 武村 正宏

組織図

